

企画名：つながる気候正義ツアーin 韓国

団体名：渡辺晏子

1. 報告要旨

2025 年 9 月 26 日～30 日までの 5 日間で韓国、ソウルで行われた気候正義行進への参加、韓国の気候アクティビストらの 3 グループ(環境運動連合+Green Korea、Platform C、脱成長と対案研究所) との交流、3 つの施設(西大門刑務所歴史館、植民地歴史博物館、民主化運動記念館)を見学しました。交流会では、「韓国の気候正義運動でインターセクショナルな視点を取り入れることができ、また、それによって様々なセクターからの参加を集うことができる理由は何か」や、「大規模になればなるほど、その場にいる参加者たちをオーガナイズしていくことが大変だと考察するが、その対応などはどうしているのか」などを問いました。結果として、彼らとは市民運動の前提条件や、リソース、『正義』という言葉の持つ効果の違いなどを痛感し、改めて、日本からやってきた私たちが、韓国の気候正義運動から学び、活かせることはなにか、それは存在し得るのか、という原点に立ち返るような時間を過ごしました。訪韓前は想定をしていなかったモヤモヤが生まれたことを含め、帰国後の報告会で話をしました。成果物として、韓国滞在中に現場の雰囲気わかるようなショート動画を 5 本作成し、発信をしました。帰国後は 2026 年 2 月 10 日にオンラインでの報告会を実施し、アーカイブ含め 23 人の参加がありました。3 月 20 日には、大阪にある momobooks にて、配信付きでオフラインイベントを実施しました。会場参加者は 6 名、配信では 3 名に視聴していただきました。

2. 成果物

1. [activists.nextdoor のInstagram](#)での情報発信
2. 「[韓国での学び報告会\(オンライン\)](#)」(2026.2.10)
3. 「[韓国での学び報告会](#)」 MoMoBooks(2026.3.20)
4. 堀潤「[韓国で 3 万人が歩いた『気候正義行進』——日本のアーティストが見た“スケールのカ”と“ケアの現場”](#)」(2025.10.13)